

包括的協業で医療・教育を守る

歯科医療と教育・研究を担う神奈川歯科大学は7月、情報セキュリティ専門企業のサービス&セキュリティ（SSK）と協業覚書を締結した。医療・教育機関のセキュリティ強化が急務となる中、両者は協業によりどのような成果を目指すのか。「モデルとなるような取り組みをしたい」と意気込む同大学理事長の鹿島勇氏とSSK社長の姜昇旭氏が、医療・教育機関を守るセキュリティと人材育成をテーマに語り合った。

神奈川歯科大学
理事長

鹿島 勇氏

サービス&セキュリティ代表取締役社長
セキュアソフト代表取締役社長

姜 昇旭氏

「モデレーター」
フリーアナウンサー

森本 智子氏

（かしま・いさむ）神奈川歯科大学大学院修了後、米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）留学や米国顎顔面放射線専門医を経て、1990年に神奈川歯科大学放射線学講座教授に就任。附属病院副院長や副学長などを歴任し、2009年より学校法人神奈川歯科大学理事長。

（カン・スンウク）東京大学工学系研究科修士課程修了。2002年株式会社セキュアソフトを立ち上げ代表取締役社長に就任。15年にはサービス&セキュリティ株式会社の代表取締役社長を兼任。現在、ソフトウェア開発の株式会社アルファを含む4社の社長を兼務している。

（もりもと・ともこ）早稲田大学卒業後、テレビ東京にアナウンサー職で入社。「ワールドビジネスサテライト」など経済・報道番組を中心に活躍し、取材や企画も手掛ける。2021年にテレビ東京を退職。ヘルスケア関連事業を起業したほか、フリーアナウンサーとしても活動している。



「知らない」というリスク

森本 国内外で大学や病院を狙ったサイバー攻撃が大きな社会問題となっています。教育、研究、附属病院での診療という3つの重要機能を一体的に担う神奈川歯科大学は、どのような危機感を抱いていますか。

鹿島 教育の現場には学生や保護者の個人情報、成績や入試データといった重要な情報が蓄積されています。研究領域では未発表のデータや特許出願中の知的財産、産学連携の契約情報などがあり、万一漏えいすれば巨額の賠償問題に発展するだけでなく、信用の失墜にもつながりかねません。

最も慎重な管理が求められるのは附属病院です。電子カルテには病名・病歴や医療画像データ、処方箋情報など患者さんのセンシティブな情報が集約されています。生成AI（人工知能）の高度化でディープフェイク技術が進化し、病院長や主治医の顔・声を模倣して患者さんをだますような巧妙な攻撃も懸念されます。防御体制の強化は避けて通れない優先課題です。

現場の意識改革急務

森本 具体的にどのように防御体制を強化されているのでしょうか。

鹿島 絶対に突破されない体制を自前で構築するのは不可能です。役割分担が重要で、外部からの高度な攻撃への対策はセキュリティのプロフェッショナルにお任せする。その一方で、私たちは組織内部からの情報漏えいなどを防ぐ。そのためには、すべての教職員に情報機器の安全な利

用と情報セキュリティ意識の向上を目的とする教育を実施し、ヒューマンエラーを最小化することがポイントです。

リアルタイムで把握

森本 今回の協業覚書では、5つの領域にわたる包括的なアプローチが示されています。具体的にどのような内容でしょうか。

姜 まず着手するのがアセ

メントです。システムやネットワークにどのような弱点があるか、脆弱性診断で洗い出します。そのうえで対策をご提案します。24時間365日の有人監視を行うSOC（セキュリティ監視センター）や、セキュリティエキスパートの派遣で、日々の運用も支えます。現状を正しくつかみ、変化をリアルタイムで捉え続け、攻撃が成立する前に手を打つ。これがセキュリティ対策の核心です。

鹿島 本学も改めてチェックして初めて分かったことが多くありました。問題点の抽出により、何よりもセキュリティ教育の重要性を執行部が認識することが大切だと感じました。



トップが自ら学んで判断する

森本 情報セキュリティを担う人材の育成はどのようにお考えですか。

鹿島 高度な専門家を自前で育てるのは困難ですが、基礎的な知識がなければ協業の効果を高められません。まずはセキュリティポリシーの設定から見直し、AI時代に沿ったポリシー策定を行い、AIツールを利用するに

も、セキュリティを意識して利用する必要があります。ただし、策定を行うだけでは意味がありません。ポリシーを順守して行動する意識づけが最も重要だからです。また、仮にセキュリティインシデントが発生した場合に備えて、どのような行動をとるべきか、想定訓練を行うことも重



要だと考えています。

姜 確かにそうですね。当社のインシデントレスポンスサービスでは、セミナー形式の訓練を用意しています。多くの医療・教育機関のご担当者を受け入れ、実務に即した研修も行っています。サービスと人材の両輪で培った経験と知見を、今回の協業を通じて神奈川歯科大学の組織全体のリテラシー向上に還元してまいります。

森本 これからの時代のリーダーにメッセージをお願いします。

鹿島 組織のトップや経営層は高齢であることも多く、デジタル分野を担当者や業者に丸投げしてしまいがちです。しかし、トップ自身が勉強し、情報リテラシーを身に付けなければ、リーダーシップを発揮できません。自らの足りない点を素直に認め、専門家の指示を仰ぎながらセキュリティへの投資を決定する姿勢が求められます。

姜 サイバーセキュリティ対策を経営課題の中心に据えるという神奈川歯科大学の判断は、先駆的だと思います。ここまで踏み込んだ包括的な協業は当社としても初めてです。医療・教育機関がそれぞれの現場で参照できるモデルケースをつくり、日本全体のサイバーセキュリティ水準の底上げにつなげていきたいと考えています。

お問い合わせはこちらから！

E-Mail : sales@securesoft.co.jp
セキュアソフト：
<https://www.securesoft.co.jp/>
サービス&セキュリティ：
<https://www.ssk-kan.co.jp/>

securesoft

株式会社セキュアソフト

SSK
service + security

サービス&セキュリティ株式会社

広告

企画・制作=NIKKEIブランドスタジオ